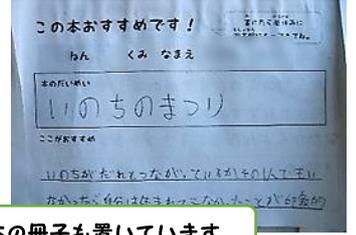


学校図書館 支援センター だより

2020・2・21《第102号》

松任小学校 学校図書館 今年度のテーマは「つなぐ」

松任小学校図書館では、今年度は「つなぐ」をテーマに取り組みました。



松任中の親から子どもたちにおすすめする本の冊子も置いてあります

人と本をつなぐ

大好きな本を介して、その本を好きな人同士がつながったり、友達や身近な人からすすめもらった本を介して仲が深まったり…そんな風に本と人がつながり、本の世界が広がることを目指しました。

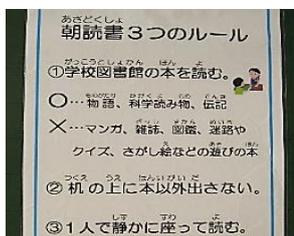
松陽小や松任中の取り組みを参考に、夏休みに、おうちの方から子どもたちにおすすめする本をアンケートでお聞きしました。ご自身のお子さんの学年の児童におすすめする本と、松任小の児童みんなにおすすめする本をお聞きし、たくさんの返答をいただきました。おすすめの本のエピソードやコメントからは、一緒に本を読んだ時の楽しい思い出や、保護者の方からお子さんに本をおすすめしている様子がうかがえました。リストは11月の読書週間に全員に配布し、図書館ではおうちの方からのおすすめの本の常設コーナーを作り、授業参観の際にも見てもらえるよう案内しました。

読書週間には先生からのおすすめの本も展示しました。児童は先生たちがどんな本をおすすめしているか見て、借りていました。なかには、担任の先生のおすすめの本が貸出中だったので予約して読んでいた児童もいました。あわせて、児童に自分のおすすめの本を紹介してもらい展示したり、図書館だよりで紹介したりしました。

小学校から 中学校へつなぐ

松任小の児童は、ほぼ全員松任中へ進学します。学校もお互い見える位置に建っているので児童も親しみがあります。中学校と連携して、小学校段階から少しでも取り入れられる活動は取り入れ、小学校から中学校へつなげていきたいと思えます。

- ① 昨年度から朝読書の決まりを松任中の朝読書のルールと合わせて明文化し、職員会議で提案し、周知を図りました。朝読書の際に黒板に貼る用紙も松任中のものを参考に作成し、朝読書の日には先生に掲示してもらっています。
- ② 中学1年生が国語で作成したポップを小学校で展示しました。昨年度まで小学校にいた生徒たちの作品なので、親しみを持ちながらも、やはり中学生の作品らしくレベルの高い仕上がりに感心しながら見ていました。司書としては小学校のころおすすめした本を、生徒がおすすめとして取り上げてくれてうれしく思ったり、小学校のころ担任の先生に読み聞かせしてもらった本を選んだりする生徒もいたりして、小学校とのつながりも感じられました。
- ③ 昨年度より6年生の国語「本は友達」で、松任中のビブリオバトルのDVDを参考にして、ビブリオバトルを行っています。5分の発表は難しいので時間は短く、原稿がないとなかなか話せないで原稿ありと、正式にはビブリオバトルとは呼べない取り組みですが、取り組み後にはチャンプ本に選ばれた本はよく貸出され、チャンプ本に選ばれていなくても、紹介された本を借りて行ったり、話題にあげたりしている様子が見られました。これをステップにして本格的なビブリオバトルに興味を持ってもらえればと思います。



【学校展示】今年度は4校実施 ご協力ありがとうございました。

先月展示しました！ 松陽小5年生

「おすすめします 私の心に響いたお話」



松陽小5年生 国語「わらぐつの中の神様」
「おすすめカード」で杉みき子作品をすいせんしよう
杉みき子作品『かくまきの歌』『春さきのひょう』『とべ白鳥』『おばあさんの花火』を読み、おすすめカードを作りました。

☆普段あまり貸出されない本が、借りられました☆

只今、展示中です！ 3月8日まで

千代野小5年生 本のPOP作品展



千代野小の5年生が、国語の授業で作成した本のPOPです。低学年・中学年・高学年それぞれへ向けておすすめの本を選んで作りました！

☆今年で4年目、毎年恒例の展示です。

展示した本があつという間に借りられます☆

「最近 10 年間の岩波ジュニア新書のベスト8」

昨年11月、図書館総合展（横浜）の2つのフォーラムに、支援センター職員2名が参加しました。

【フォーラム】「新書とYAがであう：ノンフィクションが読書と学びの扉を開く」では、岩波ジュニア新書編集長の山本慎一氏のお話を聞きました。本の制作過程や作り手側が込める思いを聞く機会はありませんので、とても新鮮で興味深かったです。当日の山本氏の資料からの情報です。

どうぞ、ジュニア新書を読んでみてください。

「最近 10 年間の岩波ジュニア新書のベスト8」

- ・『砂糖の世界史』川北稔
- ・『詩のこころを読む』茨木のり子
- ・『〈銀の匙〉の国語授業』橋本武
- ・『社会の真実の見つけかた』堤未果
- ・『パスタでたどるイタリア史』池上俊一
- ・『世界の国 1位と最下位』眞淳平
- ・『ひめゆりの沖縄戦』伊波園子
- ・『正しいパンツのたたみ方』南野忠晴

・岩波ジュニア新書3つの柱

- ◆中高生の学習をさらに深める 教科科目の学びを深める

『砂糖の世界史』1996年 発刊から23年、今も人気
社会の教科書だけでは分からない本当の歴史のおもしろさ
『平安女子の楽しい！生活』川村裕子 2014年

現代のスマホと対比 芦田愛菜ちゃんが受験時に読んだ本

- ◆中高生が社会を知り、自分で考えるため 主体的な学び、探求型の学びを支える

新たな学び方 正解のない問い 論理的思考力、読解力 ～今、注目～

- ◆中高生の悩みに寄り添う 進路、友達関係や家庭環境などの不安と向き合う

先の見えない、生きづらい社会 ～いつもそばにいるよ～

- ・中高生が「新書」と出会う場は、授業、学校図書館、公共図書館である。
- ・自分のテーマを深めるために新書をどう使うか、作り手も意識している。
- ・探究型学習 → どういう生き方をするのか そのための新書であってほしい。

中高生を応援する
「岩波ジュニア新書」と「ちくまプリマー新書」
でも、中高生だけのものではないです！
書き方はやさしいけれど、内容は大人向け新書と同じ。
入門書に最適です。

◇岩波ジュニア新書とは◇

- ・1979年創刊 40周年、出版点数900点、現在20点/年出版
- ・40年間変わらない方針で発刊している
 - ◆学校での学力の差にとらわれないで
 - ◆家庭環境などの条件の違いにとらわれないで
 - ◆簡単に可能性を放棄しないで



ぜひ、授業で使ったり、
先生方が読まれて、
子どもたちに新書を
紹介していただ
ければと思います。

